

令和 2 年度 宝木中学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す生徒像含む）

- (1) 基本目標 「人間尊重の教育を基盤に，知・徳・体の調和のとれた発達を目指し，心身共に健康で知性と創造性に富み，心情豊かでたくましく社会に生きる人間の育成」
- (2) 具体目標（具体的な生徒像）
- ①気力・体力のあるたくましい生徒（たくましく）
 - ②自ら学びよく考える生徒（さとく）
 - ③心豊かで礼儀正しい生徒（あかるく）
 - ④がまん強く進んで働く生徒（いきいきと）

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

学校は ○子どもたちにとって居心地のよい楽しい場所であること
 ○教職員の「生きがい」や「やりがい」を感じる場所であること
 ○保護者，地域の皆様から信頼される場所であること
 このように，信頼と心の触れ合いを基盤とした，豊かな人間関係に支えられた**ぬくもりと夢のある学校**づくりを推進する。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1) 学習指導要領や第 2 次宇都宮市学校教育スタンダード等の趣旨をふまえるとともに，生徒の実態や学校・地域の特色を生かした特色ある教育課程の編成・実施に努める。
- (2) 生徒の実態に応じた指導方法や指導体制の工夫・改善を図り，生徒一人一人の確かな学力の育成に努める。
- (3) 生徒理解を基盤として生徒指導の充実を図るとともに，生徒の教育的ニーズに応じたきめ細かな指導や長期的な視点に立った特別支援教育を推進し，望ましい人間関係や豊かな人間性・社会性の育成に努める。
- (4) 道徳科の充実を図り，生徒一人一人の道徳実践力を高めるとともに，読書活動や体験活動を一層推進し，生徒の内面に根ざした道徳性の育成に努める。
- (5) 家庭との連携を強化し，健康管理や体力づくり，食に関する指導の充実を図るなど，生徒が将来にわたって健康に生活していく基盤づくりに努める。
- (6) 生徒の発達の段階に応じた組織的・系統的なキャリア教育，進路指導を推進し，社会的・職業的な自立に向け必要となる能力・態度の育成に努める。
- (7) 校内の事務の効率化や簡略化等を図り，生徒に向き合う時間の確保と教職員の負担軽減に努める。
- (8) 児童生徒の 9 年間の成長を見通した小中一貫教育を推進し，学校園で共通理解を図りながら，宝木地域学校園が目指す心豊かな生徒の育成に努める。
- (9) よき伝統や地域の特色，教職員の創意工夫を生かした特色ある学校づくりの推進に努める。
- (10) 積極的な情報提供など家庭・地域社会との連携を一層深めるとともに，魅力ある学校づくり地域協議会を効果的に活用し，生徒の地域行事への協力やボランティア活動を通して，地域とともにある学校づくりの推進に努める。

〔宝木地域学校園教育ビジョン〕

テーマ「いきいき宝木」心豊かな宝木っ子の育成を目指します。

他を思いやる心や規範意識を育み，基本的生活習慣や主体的に学ぶ態度を身に付けさせる指導の充実

4 教育課程編成の方針

- (1) 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ，これらを活用して課題を解決するために必要な思考力，判断力，表現力等を育むとともに，主体的に学習に取り組む態度を養い，多様な人々との協働を促す教育の充実に努める。
- (2) 小中学校の連携を図り，生徒会や各教科の出前授業などの交流を継続する。

5 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

- 【学 校 運 営】○生徒の学力向上を目指し，教員の授業力向上並びに学業指導，キャリア教育の推進
- 【学 習 指 導】○授業のねらいに基づいた振り返りと自主学習ノート等の活用による家庭学習の習慣化
- 【児 童 生 徒 指 導】○自己肯定感や自己有用感を育てるとともに，よりよい人間関係づくりと不登校対策の推進
- 【健康（体力・保健・食・安全）】危険の予測や危機回避能力の育成を図る安全教育や防災教育並びに環境教育の充実

6 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
目指す生徒の姿	A 1 生徒は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 85% 以上	①グループ活動や話し合い活動などを積極的に取り入れ、生徒が進んで学習に取り組めるような学習活動の工夫をする。 ②特に英語科と数学科では習熟度指導やTT等、個に応じた指導の充実に努める。	A	【達成状況】 数値目標を達成した。(＋6.3 ポイント) 【次年度の方針】 ①「主体的・対話的で深い学び」の実現を進めるために、単元の学習の、どこで見通しを立てる活動を入れるか、どこで話し合い活動を入れるかを考慮して、単元の計画を立てて、実行する。
	A 2 生徒は、思いやりの心をもっている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80% 以上	①道德の授業を通して、自己肯定感が高められるような体験活動を取り入れた授業や資料提示の工夫をしていく。 ②日々の授業や学校行事などで、友達と互いのよさを感じられるような活動を取り入れ、思いやりや協同する心を育てる。	B	【達成状況】 数値目標を達成した。(＋7.7 ポイント) 【次年度の方針】 ①道德の授業では、資料提示と発問の工夫を行い、判断力等が高められるようにしていく。 ②日々の授業や学校行事などで、友達と互いのよさを感じられるような活動を取り入れ、思いやりや協働する心を育てる。
	A 3 生徒は、きまりやマナーを守って、生活をしている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 85% 以上	①「マスクの着用」及び「手洗いなどの手指衛生」など「新しい生活様式」を導入し、感染およびその拡大のリスクを可能な限り低減できるよう、指導を継続していく。 ②ネットトラブル防止に関する指導を、全体及び学年ごとに実施する。また、保護者会の機会を捉えて情報提供し、理解・協力を要請する。	B	【達成状況】 数値目標を達成した。(＋2.7 ポイント) 【次年度の方針】 ①学年学級委員会などと協力し、授業開始のチャイムが鳴る前に自ら着席するなど、時間に余裕を持って行動できるよう指導する。 ②ネットトラブル防止に関する指導を、全体及び学年ごとに実施する。また、保護者会の機会を捉えて情報提供し、理解・協力を要請するとともに、小学校との連携も強化する。
	A 4 生徒は、時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 90% 以上	①授業の開始や終了時の、あいさつの言葉を発表した後に礼をする「先言後礼」の実践をする。 ②授業・行事等における先言後礼や、「茶道教室」における礼儀作法の指導を通して、まごころを込めてあいさつができるよう指導する。	B	【達成状況】 数値目標を達成した。(＋2.9 ポイント) 【次年度の方針】 ①「先言後礼」や「茶道教室」を通して、礼儀作法の大切さに気付かせ、真心を込めてあいさつができるよう指導する。
	A 5 生徒は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80% 以上	①学校行事や部活動を通して最後までやり通す力がつくように適切な目標を設定させ、支援する。 ②家庭学習の目標を設定するために自主学習シートを適時使用し、毎日自主学習を提出させることで計画的に学習する習慣を育成する。	B	【達成状況】 数値目標を達成した。(＋3.5 ポイント) 【次年度の方針】 ①学校行事や部活動を通して最後まで粘り強くやり通す力がつくように適切な目標を設定させ、支援する。 ②家庭学習の適切な目標を設定するために自主学習シートを適時使用し、毎日自主学習を提出させることで計画的に学習する習慣を育成する。

A 6 生徒は、健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80% 以上	①スタンダードダイアリーに掲載されている「元気っ子生活習慣チェック」表を活用し、振り返りをさせながら、健康の重要性を啓発する。 ②事前に必要な知識を教え、生徒が自分の判断で避難行動ができるよう、計画的な避難訓練を実施する。	【達成状況】 数値目標を達成した。(＋13.2 ポイント) 【次年度の方針】 ①スタンダードダイアリーに掲載されている「元気っ子生活習慣チェック」表を活用し、振り返りをさせながら、健康の重要性を啓発する。 ②事前に必要な知識を教え、生徒が自分の判断で避難行動ができるよう、計画的な避難訓練を実施する。 ③「マスクの着用」及び「手洗いなどの手指衛生」など「新しい生活様式」を導入し、感染およびその拡大のリスクを可能な限り低減できるよう、指導を継続していく。
A 7 生徒は、夢や目標をもって、社会に貢献できるよう努力している。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80% 以上	①キャリアパスポートを活用し、学習したことを積み重ねていく過程で振り返りや反省を繰り返すことにより、学習した内容の深化を図る。 ②地区体育祭や宝木まつりなどの地域活動やボランティア活動に参加するよう、教室へのチラシ掲示や、生徒会からの働きかけを行い、社会貢献を積極的に行う態度を育成する。	【達成状況】 数値目標を達成した。(＋3.5 ポイント) 【次年度の方針】 ①キャリアパスポートを活用し、学習したことを積み重ねていく過程で振り返りや反省を繰り返すことにより、学習した内容の深化を図り、進路に関する目標を考えさせる。 ②地区体育祭や宝木まつりなどの地域活動やボランティア活動に参加するよう、教室へのチラシ掲示や、生徒会からの働きかけを行い、社会貢献を積極的に行う態度を育成する。
A 8 生徒は、英語を使ってコミュニケーションしている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80% 以上	①英語の授業の初めに、指導者が英語で質問したことに答える。また、Small Talk の時間を取り、数分間生徒と指導者で英語でやりとりをする。 ②ALT との TT の授業では、ALT と生徒が直接話す場面を数多く設ける。	【達成状況】 数値目標を達成した。(＋7.1 ポイント) 【次年度の方針】 ①英語の授業の初めに、Small Talk の時間を取り、指導者と生徒が英語でやりとりする活動を行う。 ②ALT との TT の授業では、生徒が ALT に積極的に話しかけられるような雰囲気を作ると共に、生徒と ALT が直接話す場面を数多く設定する。
A 9 生徒は、宇都宮の良さを知っている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80% 以上	①断郊協歩大会において、大谷資料館や多気山、市美術館を見学し、宇都宮の歴史や文化を学ぶ。 ②総合的な学習の時間や各教科などの年間指導計画に、宇都宮市と関連付けられる内容を取り入れる準備をする。	【達成状況】 数値目標を達成しなかった。(－0.5 ポイント) 【次年度の方針】 ①断郊協歩大会において、大谷資料館や多気山、市美術館を見学し、宇都宮の歴史や文化を学び、俳句作りや振り返り等で深化を図る。 ②総合的な学習の時間の年間指導計画に、宇都宮学を位置づけ実践するなど研究を深める。
A 10 生徒は、ICT 機器や図書等を学習に活用している。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80% 以上	①ICT 機器の活用についての研修を充実させ、活用を活性化する。 ②実物投影機やプロジェクターを持ち出ししやすい場所に設置変更し、ICT 機器を活用する機会を増やす。 ③図書室にある授業に関連する資料を、意識的に活用する。	【達成状況】 数値目標を達成しなかった。(－1.8 ポイント) 【次年度の方針】 ①タブレット等の研修を充実させ、積極的な活用を図る。 ②図書室にある授業に関連する資料を、各教科で活用するために、単元の学習のどこで活用するか研究し、カリキュラムの中に位置付ける。

目 指 す 学 校 の 姿	A11 生徒は、高齢者に対する感謝やいたわりの心をもっている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%以上	①福祉委員会と宝木荘との手紙交流を通して、高齢者に対する感謝やいたわりの心を育てる。 ②活動の様子を学校たより、HP等活用して情報を発信する。	B	【達成状況】 数値目標を達成した。(+7.7ポイント) 【次年度の方針】 ①福祉委員会を中心に、宝木荘へビデオレターなどの交流を通して、高齢者に対する感謝やいたわりの心を育てる。 ②活動の様子を L ロードの掲示、学校たより、HP 等を活用して情報を発信する。
	A12 生徒は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%以上	①環境 ISO を通して、資源のリサイクルやエネルギーの節約を、生徒会活動として行う。 ②少年消防安全委員会の活動として、移動教室時における消灯や冷暖房の電源断を行わせたり、現況を生徒会朝会等で発表させたりして、持続可能な社会についての関心を高める。	A	【達成状況】 数値目標を達成しなかった。(-1.3ポイント) 【次年度の方針】 ①SDGs の取組を、教科横断的な視点で各教科の関わりを検討し、カリキュラムの中に位置付ける。 ②環境 ISO を通して、資源のリサイクルやエネルギーの節約を、生徒会活動として行う。 ③生徒会委員会を活用し、移動教室時における消灯や冷暖房の電源断を行わせたり、現況を生徒会朝会等で発表させたりして、持続可能な社会についての関心を高める。
	A13 教職員は、特別な支援を必要とする生徒の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 80%以上	①毎週のエデュケーション委員会(年 3 回)の実施により、具体的な支援の協議と実践を行う。 ②特別な支援を必要とする生徒が、教育的資源を活用できるように会議を開き(特別支援委員会)方向性を決めて、生徒の支援を行う。	B	【達成状況】 数値目標を達成した。(+16.9ポイント) 【次年度の方針】 ①毎週のエデュケーション委員会、及び校内支援委員会(年 3 回)を通して、一人一人の教育的ニーズを把握する。 ②特別支援小委員会やケース会議を適宜開き、チームで方向性を協議しながら支援を行う。
	A14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 90%以上	①いじめ根絶に向けた授業を、道徳・学活の年間指導計画に位置付け、年 4 回実施する。 ②「いじめの調査」を年 4 回(5, 9, 12, 2 月)実施し、早期発見・早期対応に努める。 ③「学校いじめ防止基本方針」に基づいた研修を行い、教職員の意識を高める。	B	【達成状況】 数値目標を達成した。(+2.1ポイント) 【次年度の方針】 ①道徳・学活の年間指導計画に、いじめ根絶に向けた授業を年 4 回位置付け、実施する。 ②5 月、9 月、12 月、2 月に「いじめの調査」を実施し、未然防止、早期発見・早期対応に努める。 ③「学校いじめ防止基本方針」に基づいた研修を行い、教職員の意識を高める。
	A15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 80%以上	①挨拶、励まし、賞賛等言葉かけを行ったり、生徒が活躍できる場面を設定したりするなど、自分の居場所となるような温かい雰囲気を作る。 ②生徒理解を深めるために、スタンダードダイアリーを活用し、日常的な生徒の観察を行う。 ③意図的な教育相談を実施するとともに、配慮生徒への支援を行う。(チーム対応)	B	【達成状況】 数値目標を達成した。(+20.0ポイント) 【次年度の方針】 ①挨拶、励まし、賞賛等の言葉かけや、生徒が活躍できる場面を設定し、学級が生徒の居場所となるような温かい雰囲気を作る。 ②スタンダードダイアリーを活用し、生徒理解を深めるとともに、日常的な生徒の観察を充実させる。 ③意図的・計画的に教育相談を実施し、配慮生徒への支援を行う。(ケース会議・チーム対応)
	A16 教職員は、外国人児童生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 50%以上	①該当生徒保護者と面談し、個に応じた支援をチームで検討し、実践する。 ②日本語指導ボランティアを含めたチームで個別の指導計画を作成し、指導に当たる。	A	【達成状況】 数値目標を達成した。(+46.9ポイント) 【次年度の方針】 ①該当生徒・保護者と面談し、個に応じた支援をチームで検討し、実践する。 ②日本語指導ボランティアを含めたチームで個別の指導計画を作成し、実態に応じた支援に当たる。

A 17 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 85%以上	①各種学校行事において、生徒会を中心に、生徒の主体的活動を積極的に取り入れ、リーダーの育成を図るとともに、生徒同士が主体的に活動する態度を育てる。	A 【達成状況】 数値目標を達成しなかった。(-1.3 ポイント) 【次年度の方針】 ①各種学校行事において、生徒会を中心に、生徒の主体的活動を積極的に取り入れ、リーダーの育成を図るとともに、生徒同士が主体的に活動する態度を育てる。 ②Q U等を活用し、学級での潤滑な人間関係づくりができるよう個々に応じた指導を行う。
A 18 教職員は、分かる授業や生徒にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 85%以上	①授業で本時のねらいの提示と、生徒各自のふり返りを確実に実施する。 ②一人一授業の実施を徹底し、グループごとに参観し意見交換会を行うなど方法を工夫して授業力向上を図る。	A 【達成状況】 数値目標を達成した。(+0.8 ポイント) 【次年度の方針】 ①授業で本時のねらいの提示と、生徒各自のふり返りを確実に実施する。 ②一人一授業を少人数グループで実施し、授業後のグループでの意見交換会の他に、全体研修会を持ち、授業力の向上を図る。 ③OJT 機能を使い、重点的に若手教員の授業力向上を図る。
A 19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 80%以上	①学級活動や総合的な学習等における調べ学習における本の選定に関する情報などを学校図書館司書教諭や栄養教諭等と連携し生徒の学習指導を行う。 ②教育相談及び生徒指導会議で今後の指導の手立てや方針を確立し、組織的な対応に努める。特別支援コーディネーターを中心に、SC、SCM、との連携を密にする。	B 【達成状況】 数値目標を達成した。(+13.8 ポイント) 【次年度の方針】 ①学級活動や総合的な学習の時間等における調べ学習で利用する本の選定の仕方に関する情報などを、学校図書館司書教諭や栄養教諭等と連携して生徒に提供する。 ②教育相談及び生徒指導会議で今後の指導の手立てや方針を確立し、組織的な対応に努める。特別支援コーディネーターを中心に、SC、SCM、との連携を密にする。
A 20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】 教員の肯定的回答 80%以上	①仕事の効率化のため各教科の物品や行事等で使用するものの保管場所を整理し機能的な環境をつくる。 ②文書保管場所を設定しデータの保存場所等整理する。 ③会議の効率化のため、発表時間の設定や早めの起案を心掛け、要点のみの発表を行う。	B 【達成状況】 数値目標を達成した。(+1.3 ポイント) 【次年度の方針】 ①仕事の効率化のため各教科の物品や行事等で使用する物品の保管場所を整理し、機能的な環境をつくる。 ②文書の保管場所を設定するとともに、データの保存場所を整理する。 ③会議の効率化のため、早めの起案を心掛け、要点を整理して提案する。
A 21 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%以上	①地域学校園各部会の取組みについて、部会報告及び地域学校園だよりに掲載し、全職員に配布するとともに地域学校園掲示板に掲示する。 ②生活面学習面での連携をとり、小学校での学習と中学校での学習がつながっていくように取り組んでいく。【あいさつ運動、入学記念テスト国数 家庭学習等】	A 【達成状況】 数値目標を達成しなかった。(-11.2 ポイント) 【次年度の方針】 ①地域学校園各部会の取組について、部会報告及び地域学校園だよりに掲載し、全職員に配布するとともに地域学校園掲示板に掲示する。 ②生活面学習面での連携をとり、小学校の学習と中学校の学習につながりを持たせる。【あいさつ運動、家庭学習等】 ③地域学校園小学校の先生の中学校への授業参加の充実を図る。

	A22 学校は、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 80%以上	①茶道教室を通して礼儀作法の学習を行う。 ②断郊協歩大会を行い郷土の自然や風景に接し、これらを末永く大切にしようとする心を育てる。	B 【達成状況】 数値目標を達成した。(＋13.8 ポイント) 【次年度の方針】 ①茶道教室を通して礼儀作法の学習を行う。 ②断郊協歩大会を行い郷土の自然や風景に接し、これらを末永く大切にしようとする心を育てる。 ③ふれあい文化教室を通して日本の伝統的な楽器演奏を体験する。
	A23 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、よりよい生徒の育成に取り組んでいる。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 80%以上	①「理科における博物館との連携授業」、「高校との放課後の説明会」、「茶道教室」、「働く人に学ぼう」など、地域の人材を活用して行う。 ②学力向上のために地域の教育力を生かした「放課後自習支援」や農作物育成のための畝立てなど地域の人材に協力を求め、学校教育を推進する。	B 【達成状況】 数値目標を達成した。(＋13.8 ポイント) 【次年度の方針】 ①「茶道教室」、「働く人に学ぼう」など、総合的な学習の時間において地域の人材を活用する。 ②学力向上のための「放課後自習支援」や農作物育成のための「畝立て」などにおいて地域の人材に協力を求め、学校教育を推進する。 ③「理科における博物館との連携授業」、「放課後の高校説明会」など、関係機関や企業等と連携した活動を行う。
	A24 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 80%以上	①毎月の安全点検を確実に実施し、学校業務嘱託員や機動班との連携を図り、安全性の高い環境整備に努める。 ②適切な感染症対策を実行する。	B 【達成状況】 数値目標を達成した。(＋20.0 ポイント) 【次年度の方針】 ①毎月の安全点検を確実に実施し、学校業務嘱託員や機動班との連携を図り、修繕箇所の早期改善に努力する。 ②適切な感染症対策を実行する。
	A25 学校は、学習に必要なICT機器や図書等を整えている。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 80%以上	①授業等で利用しやすいように、ICT機器の適切な管理を行う。 ②学校図書館司書教諭と各教科担当者連携し、各教科で必要な図書を整備する。	A 【達成状況】 数値目標を達成しなかった。(－1.8 ポイント) 【次年度の方針】 ①タブレット端末の利用方法について教職員間で共通理解を図り、生徒一人一人が日常的に正しく使うための研究を進める。 ②ICT機器を授業で利用しやすいように、貸し出し簿整備したり、保管場所を明らかにするなど、使いやすさに配慮して適切な管理を行う。 ②学校図書館司書教諭と各教科担当者が連携し、各教科で必要な図書を整備する。
	本校の特色・課題等 B1 生徒は、家庭学習に意欲的に取り組んでいる。 【数値指標】 生徒の肯定的回答85%以上	①家庭学習の手引き等を年度当初のオリエンテーションや三者懇談で学級担任から、保護者会等で学習係から説明する。 ②自主学習ノートの形式を工夫し、ねらいを持って取り組めるように継続して指導する。 ③自主学習ノートを点検し、家庭学習を啓発していく。	A 【達成状況】 数値目標を達成しなかった。(－1.2 ポイント) 【次年度の方針】 ①家庭学習の手引き等を年度当初のオリエンテーションや三者懇談で学級担任から、保護者等で学習係から説明する。 ②自主学習ノートの形式を工夫し、ねらいをもって取り組めるように継続して指導する。 ③自主学習ノートを点検し、家庭学習の向上について啓発していく。

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

市全体と本校を比較してみると、教職員の肯定的回答割合は、20問中16問の質問において市全体を上回った。また、本評価書の数値指標は21項目中16項目で達成した。今年度は、感染症対策のために、予定した活動が行えにくい中ではあったが、生徒は明るく落ち着いて、充実した生活を送っている。これらのことは、本評価書などのPDCAが機能したものと考えている。

「生徒は、ICT機器や図書等を学習に活用している」と「生徒は、持続可能な社会について、関心を持っている」については、本年度課題意識を持って取り組んだ結果、生徒の肯定的回答割合は、共に昨年度より10ポイント以上向上し、市の平均を大きく上回った。今後も、導入されるタブレット等の活用方法を研究し、持続可能な社会の実現に向けた取組を続けていきたい。

一方、生徒の肯定的回答割合については、市全体を大きく下回るものはなかったが、「教職員は、分かりやすい授業や一人一人へのきめ細かな指導をしている」は市全体より4.9ポイント下回った。また、一部の授業でわかりにくいという御意見もいただいている。このことを重く受け止めるとともに、来年度は新学習指導要領が完全実施されることもあるので、よりわかりやすさを目指した授業の研究と実施に努めていきたい。

7 学校関係者評価

- ・学校全体が明るくいいきとした雰囲気であることが、地域での生徒の明るいあいさつにつながっていると思う。
- ・「ICT機器の活用」や「持続可能な社会への関心」については市の平均を大きく上回っているので、今後も工夫した取組を続けてほしい。
- ・生徒と教職員に比べて、保護者の評価が低い項目がいくつかあるので、「学校だより」やホームページなどを活用して、学校の良い点や力を入れている点を保護者にアピールしていくと良いと思う。

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- ・「家庭学習の習慣化」、「不登校対策」、「環境教育の充実」など本校の重点目標の成果が着実に表れてきている。今後も教職員の資質向上に向けて校内研修等を充実させ、生徒一人一人と向き合う時間を確保し、個に応じた対応をしていく。
 - ・授業のねらいに基づいた振り返りを行う際にICT機器等も利用できるように、タブレット等の利用方法を工夫していく。
 - ・地域と共に歩む学校づくりを進めるために、学校での様子を広く発信し「家庭・地域」との連携を強めていく。
- 今後も、地域学校園の小中で連携して9年間を見据えた指導を行い、夢や希望を持ち、学習に積極的に取り組む生徒を育てていく。